

倫理委員会審議申請書

祐生会みどりヶ丘病院
倫理委員会 委員長殿

2024 年 4 月 15 日

申請者

所属 リハビリテーション部

氏名 朝田 晴か

所属長 橋本 裕之



下記について審査を申請します

記

懸案事項

題名

復職を目指したKeegan型頸椎症の一症例

懸案事項に関する概要

目的

Keegan型頸椎症はC5/6レベルで筋萎縮を主症状とし、肩関節の挙上障害や肘関節の屈筋の筋力低下を訴えることが多い。先行研究では、罹患期間が長く、筋萎縮が顕著であれば手術により圧迫が解除されても筋が線維化し、回復が望めない可能性があるとして報告されている。また、電気刺激療法は、筋萎縮と線維化を遅延させるとの報告があり、受傷早期より電気刺激療法を開始し、筋萎縮を防止する必要があると考えられる。

しかし、Keegan型頸椎症に対しての電気刺激療法の効果は我々が渉猟しえた限りでは、そのような報告は見当たらなかった。今回、Keegan型頸椎症を呈する症例に対して受傷早期より理学療法を開始し、その経過及び結果を明らかにすることで、今後のKeegan型頸椎症に対する治療選択の一助になると考える。本症例報告はKeegan型頸椎症患者の受傷直後から復職までの過程を報告することとする。

意義

Keegan型頸椎症に対して受傷早期より電気刺激療法を開始し、その効果を明らかにすることは、Keegan型頸椎症に対してのリハビリテーション治療において重要であると考ええる。

対象

対象はKeegan型頸椎症と診断され、リハビリテーション開始となった50代男性。

倫理的配慮

本症例には発表の主旨を十分に説明し、書面と口頭にて同意を得た。

利益相反

開示すべきCOIはない。

倫理上の問題点

患者情報から個人情報を取得しやすいために、得られたデータは本症例検討のみに使用し、使用後のデータは本症例検討のみに使用し、使用後のデータは速やかに処分する。

本症例の拒否があればデータを削除する。個人情報とは特定されないように、氏名や年齢は伏せ、安全確認の取れていないサイト上で個人情報情報を入力しないように配慮する。

倫理審査結果通知書

申請者 朝田 晴か 殿

2024 年 4 月 26 日

倫理委員会委員長

西 宏



印

受付番号 24005

記

審議名 復職を目指したKeegan型頸椎症の一症例

上記にかかる審議を 2024 年 4 月 26 日 の倫理委医会で審査し、
下記のとおり判定しましたので通知します。

判定 非該当 **承認** 条件付承認 変更の勧告 不承認

理由

1症例についての臨床研究で有り、十分な説明の上本人の許諾を得ている。
個人情報の保護にも適切な配慮がなされており、問題無しと判断した。

その他